

令和4年度(2022年度) 健康くまもと21推進会議 第3回 歯科保健部会 議事録要旨

開催日時:令和5年2月3日(金)14:00~15:30

開催方法:オンライン(Teams)または会場

開催会場:ウェルパルくまもと 3 階会議室

出席委員(13 名)

岡崎 淳司、片山 美智子、岸 知子、工藤 壽子、佐藤 成美、田上 敬祐、
永田 智恵子、永野 智子、中村 好郎、中山 秀樹、三浦 弘文、宮本 格尚、
山田 浩一 (五十音順・敬称略)

審議内容 議題1 第4次熊本市歯科保健基本計画の策定について

議題2 歯と口腔の健康づくりに関するアンケート等について

報 告 こどものむし歯予防対策について

議事(要旨)

【議事進行】 部会長

第4次熊本市歯科保健基本計画の策定と、歯と口腔の健康づくりに関する市民アンケートについて審議を行い、こどものむし歯予防対策の取組について経過報告を行う。

〈事務局〉

議題1について説明。

【部会長】

策定委員の選出について事務局提案について審議を行う。

＜意見なし＞

＜異議なし。承認＞

部会長と事務局で策定委員の選出を行う。

〈事務局〉

令和5年度は、歯科保健基本計画の他、健康くまもと21基本計画、食の安全安心・食育推進計画の3つの策定があるので、選出にあたっては、他の部会長とも協議させていただき、この3つの計画策定審議が、委員の皆様のご負担にならないよう選出させていただく。

【部会長】

策定委員メンバーの報告はいつごろになるか

〈事務局〉

策定委員については令和5年度7月に予定している第一回の策定委員会までに全委員に報告させていただく。また、審議の内容については、その都度、策定委員以外の部会委員の皆様にも報告、情報提供を行ってまいります。

次期計画の成果指標項目案について説明。

《委員》

次期計画の成果指標項目案についてお尋ねする。

- ・3歳児で4本以上のむし歯がない者の割合の増加、について、4本以上むし歯がある3歳児はあまりいないと思われるが、具体的にどのような目標を立てるのか。
- ・何歳以上と「以上」と記載されている指標が多いが、対象者（範囲）が広すぎないか。
- ・50歳以上における咀嚼良好者の割合の増加、の「咀嚼良好者」は主観的な意見にならないか。

〈事務局〉

資料に示した国の告示指標は案の段階で、4月以降に公表されるため、お尋ねの点は、公表後、策定員会で検討、審議させていただきたい。

咀嚼良好者に関しては主観的な評価ではなく、歯が何本残っていて入れ歯は使用しているかなど、客観的な判断も必要であると考えている。

《委員》

「根面むし歯」とはどのような状態なのか。

〈委員〉

大人は年齢とともに歯肉が退縮して歯の根が露出しやすくなる。歯の根はエナメル質より柔らかくむし歯になりやすい。「根面むし歯」は大人のむし歯の象徴として挙げてあると思われる。

〈事務局〉

議題2について説明。

《委員》

アンケートの回収率は前回どれくらいで、今回は何%を目指すのか。

〈事務局〉

前回の平成30年度回収率は44%。今回は50%を目指す。

《委員》

アンケートの調査項目として、性別、年齢、居住地、身長、体重などの基本属性に関することについても項目があったほうがよい。歯の健康状態や生活習慣との関係がある。

〈事務局〉

前回の調査で、身長、体重については65歳以上の方に対してのみ実施していた。
今回一緒にアンケートを行う他の2つの計画とも併せて検討を行っていく。

【部会長】

コロナ禍での生活習慣の変化などについてご意見をいただきたい。

《委員》

医療機関の受診控えにつながったのかどうかまでは把握していないが、コロナの感染を怖がり、外出することを控えた方もいらっしゃるという情報は多方面から入っている。

《委員》

マスクをしていると、口腔ケアを怠りがちになることがあるのではないかな。

《委員》

成人歯科実態調査は仕事をしている人などは行きにくいのではないかな。
こういった調査に協力される方は、元々積極的な取組をされており、定期的に歯科医院へ通っている方が多い。良い情報ばかり集まるのではないかな。

〈事務局〉

調査、健診は無料で行う予定なので、これを機に受診していただけるような周知を行う。健康づくりの会など市民組織にも呼び掛けを検討し、地域の活動の場などでも積極的に勧めていただきたい。

《委員》

歯科健診は、500名を想定しているとのことだが、検査結果にバイアスがかからないためには、自ら受けていただくような公募が必要だと思う。今までの後期高齢者の歯科健診の受診率が低いという現状があるので、調査は4～6月に実施とのことだが、年度内から働きかけて周知する方がよい。

〈事務局〉

これから具体的な内容について構築していくので、様々な手立て、様々な方に参加していただ

けるよう考えてまいる。

《委員》

アンケート回収率を上げるために何か特典をつけてはどうか。

〈事務局〉

アンケートへの協力者には健康ポイントを付与するよう予定している。

《委員》

私共も地域の方にアンケートをお願いすることがあるが、回収が難しい。
関心のある方しか回答されない。アンケートの内容はこの提示された内容でよいと思う。
アンケートに回答するだけでも意識が変わるのではないか。一人でも多くの方が回答してもらえれば良いと思う。

《委員》

アンケートの設問について

- ・フッ化物応用の経験を質問しているが、継続して行っているかを質問する必要があるのではないか。
- ・自分の歯が何本あるかについては、親知らずをいれて32本との注釈はあるが、こどもは異なるし、本数は正確にわかる人は少ないのではないか。
- ・ブラッシングの回数についての設問があったほうが良いのではないか。
- ・施設へのアンケートに関して、施設利用の方々はできるだけむし歯にならないように定期管理を行っていくことがとても重要なので、定期管理を行っているか、といった項目があると良い。
- ・成人歯科実態調査について、「進行した歯周炎」の定義をはっきりさせる必要がある。
- ・「咀嚼く良好者」に関連して、逆に噛めない人の理由がわかる設問にしたほうが良いと思う。

〈事務局〉

検討させていただく。

《委員》

当園では、フッ化物洗口を実施している。令和3年5月から始めたので、「フッ化物応用を継続的に行っている」に該当すると思った。担任に確認すると、洗口実施は大変ではないと言う。もう習慣化している。

質問だが、例えば、幼稚園では年中、年長と2年間実施する。その後小学校に行って実施しなくなっても、効果はあるのか？

《委員》

生えたとの幼若永久歯を守る意味で幼児期からフッ化物洗口をしたりすることはとても意味がある。

しかし本来フッ化物は一生使うべき。定期的に継続していく事が重要。

高齢者も歯根の部分がむし歯になりやすいため、フッ化物を使ってもらう効果が高い。

フッ化物というと若い世代のイメージだが、一生を通じて使用していただきたい。

《委員》

健康ポイントとはどのようなものか。

〈事務局〉

熊本市が運用している健康アプリというものがあり、それはウォーキングなどを行ってポイントを集め、健康づくりにつなげていただこう、というものである。

そのアプリの中で取り組んでいただきたいことをミッションとしており、今回のアンケートもミッションとして、回答した方にポイントを付与する予定にしている。

《委員》

アンケートの回収は郵送もしくは Web 回答となっているが、Web 回答とは二次元コードを読み込んで回答してもらうような方式か。

〈事務局〉

そのとおり。

《委員》

健診を受ける理由、受けない理由が何なのかわかるような項目があると良いのではないか。

《委員》

災害時の備えがあるのかという項目は、熊本地震も経験もあり、また、歯科グッズの備えがない方も見聞きするので必要な項目と思う。

成人歯科実態調査についてはできるだけ無作為に抽出できるようにするため、ショッピングセンターで健診するとか、企業などをお願いしてはどうか。

〈事務局〉

アンケートの設問数は「健康くまもと21基本計画」「食の安全安心・食育推進計画」と合わせて80問を想定しており、歯科に関する設問は限りがあるため事務局で調整させていただく。3月中に決定して4月に実施となる。内容は各委員に報告する。

〈事務局〉

こどものむし歯予防対策について、これまでの取組状況および今後の展開について報告。

《委員》

1歳からのフッ化物塗布を事業化するのは1歳6か月児健診時の有病率改善にとって良い事だと思うが、1歳で塗布にあわせて歯の健診を皆が受けることができるような想定なのか。

〈事務局〉

そのような事業展開ができればと考えている。

【部会長】

キャッチフレーズが広まるよう、市役所など目に入るところに掲示できたりすると良い。

《委員》

熊本県栄養士会機関誌「りんどう」に掲載された歯の健康の特集について紹介、説明。

《委員》

他の団体でも是非、口腔の健康について取り上げていただきたい。せっかくキャッチフレーズを作ったので、それを載せたチラシなどを作製して配布してはどうか。

《委員》

定期発行している機関誌を作成する際に使用できる歯科資料があれば教えてほしい。

《委員》

熊本県歯科衛生士会、歯科医師会のホームページでも様々な資料がダウンロードできるようになっているので利用してほしい。

【部会長】

キャッチフレーズを載せたポスターなどを電車の中に掲示したりできると目について良いのではないか。

歯科に関する資料は8020財団のホームページにも様々な資料が載っているため、参考にされてはどうか。

〈事務局〉

いただいたご意見を反映しながら来年度の計画策定に向けて、作業を進めてまいりたい。

終了